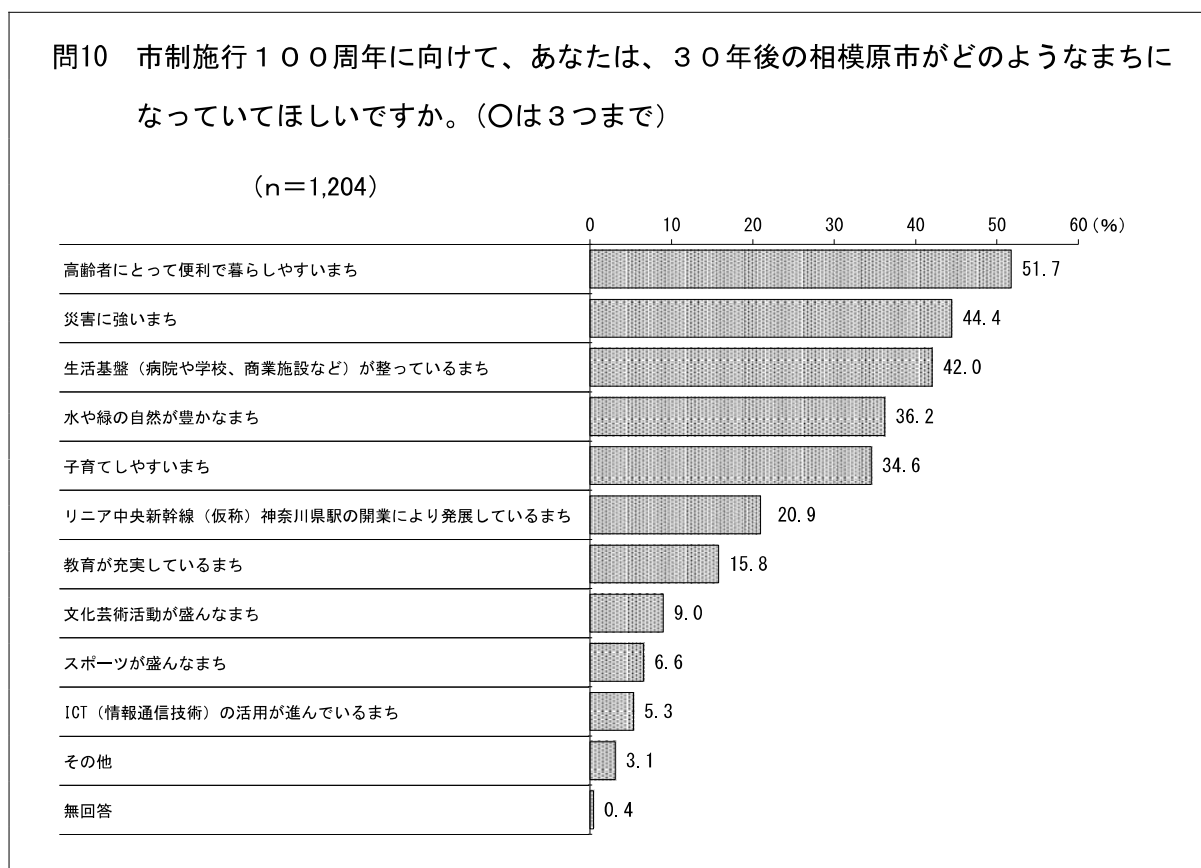


(3) 市制施行100周年に向けた、30年後の相模原市について



市制施行100周年に向けて、30年後の相模原市がどのようなまちになってほしいかたずねたところ、「高齢者にとって便利で暮らしやすいまち」(51.7%)は5割を超えている。次いで、「災害に強いまち」(44.4%)、「生活基盤(病院や学校、商業施設など)が整っているまち」(42.0%)、「水や緑の自然が豊かなまち」(36.2%)、「子育てしやすいまち」(34.6%)、「リニア中央新幹線(仮称)神奈川県駅の開業により発展しているまち」(20.9%)、「教育が充実しているまち」(15.8%)、「文化芸術活動が盛んなまち」(9.0%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別で見ると、「高齢者にとって便利で暮らしやすいまち」、「災害に強いまち」はそれぞれ女性が男性より7.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると「子育てしやすいまち」は女性30歳未満が最も高く、7割近くとなっている。

区別で見ると「リニア中央新幹線(仮称)神奈川県駅の開業により発展しているまち」は緑区で3割半ばと高くなっている。

